

三中部活動安全マニュアル

吹奏楽

	予測される危険	安全対策
用具	<ul style="list-style-type: none">●楽器の破損による怪我	<ul style="list-style-type: none">●日頃の手入れを怠らない。
環境	<ul style="list-style-type: none">●楽器置き場が無い場合活動場所が乱雑になりがち	<ul style="list-style-type: none">●第二音楽室に残っている備品を整理し、楽器置き場を設定する。
練習中	<ul style="list-style-type: none">●スピーカーの転倒による事故●誤った楽器の置き方による転倒●楽器の運搬時における事故。●狭い室内での活動による熱中症や感染症	<ul style="list-style-type: none">●使用しないときはスピーカーを降ろしておく。●正しい楽器の置き方の指導。●運搬時は人員を確保し安全に運ばせる。特に打楽器は、扱いに慣れているパーカッション担当の生徒を指示係とする。可能な限り上級生が運ぶよう指示する。●室温などに留意し、エアコンの使用、換気も怠らない。

※救急箱を用意し、怪我の際はすぐに応急処置ができるようにしておく。